

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
1 その他建設	ヒサシ谷水路が平成23年の台風12号で崩れた。県が担当していることだがまだ修繕されていない。市から県に早急に施工してもらえようお願いします。	建設部長	明日にでも県に話をし、現場に行く必要があれば行って確認いたします。 〔後日の対応〕 県補助事業での施工を要望している。県から補助決定の通知が来次第工事を予定だと説明しました。
2 文化財・文化振興	「埋蔵文化財学習の館」には値打ちのあるものがたくさんあるが、平日だけの公開では一般の人は恩恵を受けることが少ない。月曜を休みにしてでも土・日を公開してほしい。	教育次長	現在の職員体制は、館長と復元を手伝ってくれている女性の2人体制となっている。体制整備を考慮しながら、皆さんに見ていただけるよう考えていきたいと思います。
3 一括交付金制度	一括交付金は、各地域には独自性のある行事があるなか、人口配分で一律にするのは地域の独自性を殺してしまうのではないかと。いつから始めるのか、結論を急がず住民にしっかり図ってほしい。	市長	市民が公平に恩恵を受けられるように基本的には人口比例配分。また、道路・水路の草刈りとか溝掃除などで、1人600円になっているものについては、道路や水路の長さ按比例した配分にする。来年の4月1日にスタートしたいので、各地域へ担当部署が説明に行きます。
4 体育振興	スポーツ推進委員の委嘱基準はどうなっているのか。活動しない委員がいると活動する委員の負担が増えるので人選を考えてほしい。スポーツ推進委員を広く知ってもらうためにも公募にはできないのか。	教育次長	ある程度体育の種目ごとに活動できる人をお願いをしている。公募も検討しながら、本当に総社市のスポーツ推進のために活躍できる人を選んでいきたい。現委員については、しっかり活動していただくようお願いする。
5 下水道	西坂台で管理している汚水処理場について、倉敷市から浄化槽法と水質汚濁防止法に基づく指導を受け、善処策を計画するように言われている。町内が管理するとリスクがあるので、早急に下水道への接続を促進してほしい。	市長	倉敷市は下水道整備を進めていると思うが、倉敷市長に対して整備の促進をお願いしたいと思う。また、善処策などの計画策定については、総社市としてもできることは協力します。 〔後日の対応〕 西坂台自治会が汚水処理場に警報装置を設置する費用に対し、市が補助をすると説明しました。また、倉敷市に対して下水道整備の促進の要望を行いました。
6 その他福祉	権利擁護センターは発足したばかりで、具体的な動きが高齢者の雇用など特定のことに限られているが、もっと発展して行ってほしい。また、ワンストップで解決する動きを市役所全体の動きとして行ってほしい。	市長	弱者のためのワンストップ駆け込み寺として全国に先駆けてやっていきます。 【保健福祉部長】 高齢者・障がい者・子どもに対する虐待、自分で財産や契約の管理ができない人のサポートをはじめ、権利擁護センターに気軽に相談してもらいたい。センター、市役所で連携をとりワンストップで解決策を考えたい。
7 農林業	地頭片山地区は、市街化区域で次々に土地が売られたり、アパートに変わってきており、片山新池の水系を利用して稲を作っているのは数軒しかない。市の農業政策の方針をわかりやすく教えてもらいたい。	市長	総社市は基本的には農地を減らさない。皆さんに作ってもらった野菜を市が買い取って、売りさばくというシステムをルール化していく。いやいやながら米を作っている人がどうやって生き延びていくか、ということを考えていかなければならないと思う。
8 農業関連施設	地頭片山や岡谷は宅地化が進み、農地がなくなっている。地頭片山の市街化区域内に明治池があるが、今は田んぼがないのでため池の水はいらぬ。子どもの数が増えているが遊ぶところがなく困っているので、それを埋めて広場を作ってもらいたい。	市長	事情はよくわかりました。地域の意見を聞いて柔軟に対応していきたい。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
9 下水道	山手地域の市街化調整区域で宅地化し、排水管を整備する際、農業集落排水区域なら市が負担して管を施工、公共下水区域なら開発関係者が合併浄化槽でよいという場合があると聞く。同じ管を接続していくのであれば、格差を無くし、同条件になるようにしてほしい。	市長	不公平感があり、宅地化が進行している現状では考え直さざるを得ない。具体的に考えていきます。 【水道部長】 市としてもそのようなことがあるという事は把握している。今後の課題として検討していきたいと思う。具体的に区域の部分がよくわからないので、また個々に説明させていただきます。 【後日の対応】 ケースとして示された地域は、同じ市街化調整区域内の宅地だが、公共下水は計画区域外、農業集落排水は計画区域内でのケース。農業集落排水の場合は宅地化すれば、そこまで市の負担で排水管を施工するが、公共下水道の区域外の場合は近くに管が通っていても、自己負担で排水管を施工するか、または、合併浄化槽を市の補助を受けて設置するかどちらかになる。旧山手村の時はなるべく受益者の負担に差が生じないように配慮していたとのこと。しかし、現総社市では、農業集落排水と公共下水は違う制度の下で整備、運用しているため、違いが生じてしまうと説明しました。
10 情報化	オフトークはいつから中止されるのか。大地震や災害など緊急の場合に、地区に放送がなければ不安なので、オフトークに代わるものを考えてほしい。	市長	倉敷ケーブルテレビでの災害報道を考えている。FM倉敷とも契約を結びたいが電波法の問題がある。放送法や費用など課題があるがやっつけようと考えています。 【山手支所長】 オフトークはN T Tの都合で平成27年2月28日で終了します。加入率は36%で年間26世帯が光回線に変えて脱退している状況。災害時の放送については、全市的に防災関係で考えざるを得ないと思います。 【政策監】 約5億円ぐらいかかると思うが、FM局を立ち上げるなどさまざまな方法を考えている。多額の費用がかかるが、安心を買いたいと思っている。クリアしなくてはならない問題もあるが、話を前に進めたいと思っています。
11 学校教育	昨年度まで小学校に「特色ある教育づくり」の補助金があったが、今年度なくなり小学校は困っている。特色のある教育のため有意義に使っていたのにどうしてなくなったのか。なんとか努力して、教育にお金をまわしてもらいたい。	市長	平成26年4月1日から学校の教育予算を全部変え、学校も一括補助金化する。小学校は小学校長の権限の範囲の中で、使い勝手のいいように予算を使ってもらえるようにしたいと思います。 【教育次長】 それぞれの学校で特色のあるものを提案してもらい、教育委員会で審議し、学校ごとに自由に使ってもらえるものを考えたい。
12 その他福祉	今年の11月末で民生委員の任期が終わるので、現在の民生委員と町内の役員で次期の民生委員を探しているが、引き受けてくれる人がいない。少しでも市か国が財政負担をして、年報酬があれば引き受けてくれる人がいると思う。	市長	民生委員だけでなく土木委員や農業委員とかのなり手がいないということで、ボランティアで地域を支えることが難しくなっているのも事実だが、市民が支え合う仕組みなので出来る限り協力してほしい。もし、適任者がいないとなったら個別に相談させてほしい。
13 生活交通	雪舟くんで総社駅から清音駅に運んでもらえば、総社～清音間は廃止にできる。また、昼の時間帯は減便してもらったら赤字を解消できるので。なぜ総社に行かなくてはならないのか。倉敷方面に行けば利用者が増え、清音方面も発展すると思う。	市長	総社駅周辺の魅力が上がり、それによって乗客が増えていく状況を作りたいと思っていた。いずれ清音駅前は一等地として大きくクローズアップされる日がくると思う。そのような視野も含めて、議会とも話し合いながら、何らかの措置をよく考えてみたいと思う。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
14 防犯・交通安全	3、4年前に古地の西側の上がり口の所（県道24号倉敷清音線）に信号機をつけてほしいと要望し、市長の了解を得た。そして市から警察や県に要望が出されているというが何も進捗がない。感知式の信号でいいので出来るだけ早くつけてほしい。	市長	信号機をつけられない理由を100ぐらい言われるが、私たちの意志としてお願いをしていく。あれだけ死亡事故が起こる危ないところなので、誠心誠意お願いをしていこうと思う。 【市民環境部長】 要望は市長名で総社警察署を通して、県の公安委員会に行っている。たくさんの要望があり、緊急度の高いところからつけているということ。市からしっかり確認をしながらやっていこうと思います。
15 職員	一括交付金制度など地域に任せてやっていく市民型の政策に変えていく中で、市の職員も考え方を变えて、サポート的に広くできる職員にならないといけないと思う。市長が職員に対してどのような感覚をもって変えていくのかを教えてください。	市長	一つは、自分で考えて実行するというのを職員自らが能力として得ていかないとだめだと思う。もう一つは、市民に感謝の念をもつ職員。機動力をもつのと同時にやさしい気持ちをもつということを理念として進めていく。今後もさらに平身低頭で市民にお返しできるように教育していきたいと思ひます。
16 医療費適正化	医療費が5800万増えたので協力してもらいたい、ということだが、どのようなことで協力をしてもらいたいのかを具体的に聞きたい。	保健福祉部長	早寝早起きをする、朝ごはんを食べる、予防接種をしっかりと受けるなど健康を維持するための努力。かかりつけ医を持ち、出来るだけ時間内の診療を心がけるなど適正な医療受診のための努力。こうした点で御協力をいただきたい。
17 一括交付金制度	一括補助金は各地区のどこが決めるのか。各地区の代表者が集まって上で決めてしまうと、一般の人の意見が入らない。最終チェックする場とか意見を出せる場を各地区に設け、そこで承認を得るシステムにしてほしい。	市民環境部長	一括交付金は、15小学校区ごとに分配する。清音で分配の方法を考え、清音の中の地区に分配していく。人口比例で交付された補助金をそれぞれの地域が額に応じて考える。清音には清流まつりなどの事業があるが、それはこの補助金以外で残していく。 【市民環境部長】 地域の皆さんで考えていただき、皆さんのために使っていただく補助金なので、それぞれの町内会などさまざまな人が参加した中で協議してもらいたい。皆さんが参加した形で一つの地域づくりを行うということが大きなテーマになっています。
18 農林業	スーパーにある地元産の野菜を買うようにしている。地・食はとても嬉しいが、量が少ない。そして、もっと地・食が定着していったら、地元産の野菜の品質の向上を図ってほしい。	市長	これからは、もう少し品質を上げると同時に、農家自身がパッケージをしたり、スーパーで売れ残った野菜は引き取ってもらう、といったお互いの契約にしようと思う。
19 そうじゃ吉備路マラソン	そうじゃ吉備路マラソンを拡大化していくメリットを教えてください。また、前回のマラソンの帰りに居眠り運転で正面衝突事故を起こして亡くなった人がいた。安全面のことも配慮してもらい、指導などをしてほしい。	市長	とても痛ましい事故だと思う。今後、いろんなリニューアルをして盛り上げていきたいと思っている。マラソンは参加者の数ではないが、数で並び評されるという側面もある。2万人超えると、全国に誇れるものになると思っています。 【市民環境部長】 安全が大前提だと思うので、走る人も楽しく、支えるボランティアの人も応援する人にも喜んでもらえる安全なマラソンにしたいと思う。前回のマラソンで出たさまざまな課題に一つ一つ対策を講じてやっていきたいと思ひます。
20 防災・水防	各地区の防災訓練について、訓練をしている地区があれば教えてください。町内会で、いざというときに隣近所が声を掛け合って協力して逃げる、という親密なコミュニケーションがとれればと思う。	総務部長	ついこの間、三因地区で防災訓練をしていただいたし、1月前だと下原地区でもありました。避難の際の打ち合わせなどをこれから十分してくださいと、市ではお願いをして歩いている。地域の中でそのような声を上げてやってほしい。われわれも出来るだけのサポートをしたいと思っています。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
21 其他建設	これだけ市街化が進んでいくと、家の周りが道を含めコンクリートになり、ちょっとした雨でも溝が氾濫するようになる。地下に水が流れるように緑地を多く残していくなどの配慮をした街づくりをしているのか。	市長	乱開発する気はないが、今の法制度の下で、清音地区から北の部分、中原などの常盤小学校区から北はほとんど地面がコンクリート化してしまった。大雨の際には水が溢れ出る恐れもある。そういったことには気をつけて、整合性をもって開発をしていきたい。
22 体育振興	教育委員会の去年のマニフェストと今年のマニフェストはほとんどいっしょで目標達成に向けた重点事業はまったく進んでいない。本当にその目標に向かってやっているのか。いきいき総社スポーツプランがちょうど5年目になるが、生涯学習課に行ってもなかなか受け入れてくれない。市長の言うことが、生涯学習課で実践できるのであればもっと広まると思う。	市長	部長マニフェストを6年前から始めたが、少しずつ難しい目標も出てきた。できにくいこと、市民の要望が高いもの、時流に乗ったもの、将来を見据えたもの、やるにはハードルが高いもの、そのようなものを市民に示し、それを実現できるようになっていきたいと思う。まだまだその場しのぎや、難しいものは外していると思う。ご指摘は肝に銘じて、来年度のマニフェストに反映していこうと思います。
23 一括交付金制度	合併して8年あまりが経ったが、山手と清音に対しては、旧総社市の全部の公民館のコミュニティに補助されている金額の何倍もが現在も出ているという。一括交付金はその補助金を全部なくして一つの線にして、一律で交付するべき。	市長	合併をするときには、山手と清音の住民サービスが高かったので特例期間でやってきた。しかし今回新たに、全市をまとめて、山手と清音と総社を合わせた人口割配分でやる。 【市民環境部長】 一括交付金は、地域の皆さんが主体的に考えて使っていただくもの。そのためには、人口割や均等割などで割り振りをさせてもらって、各小学校区それぞれのところでやっていきたいと思っている。
24 まちづくり支援	住民から市に対して要望するだけでなく、市からも昭和地区にはこのようないい所がある、もっとこうしたらどうかなどを提案してほしい。昭和の社会資源を利用したまちおこしやまちが活性化するような指導や意見がほしい。	市長	昭和はいいところだと思っても、それを言うと、人口が減っている、子どもが減っている、KCTが映らない、インターネットが使えないとか、そういうことばかりになって、いいところが言い合えない間柄が今までだったと思う。そのようなところを反省しながら、本当に昭和の良さを見出して、それを観光や定住に結びつけたいと思っています。
25 其他建設	土木担当員にはそれぞれ年間の予算があるというが、その決算報告をしていない人がいる。これは公金であるので、決算報告ができるように市から指導していただきたい。	建設部長	土木担当員には、地元へ会計報告するようお願いしている。このお金は皆さんの税金なので、報告が出来るまでお願いしていきたくと思っています。
26 生活交通	平成24年4月以降に免許証を返納し愛カードの交付を受けた人は30枚の雪舟くん利用サービス券をもらえるが、それ以前の人にはもらえない。これをもらえるようにしてほしいという要望を昨年度した。検討してみようと言っていたが検討したのか。	市長	検討できていないのだと思うのでお詫びします。現在の該当日以前に返納された人に対しても雪舟くんの利用サービス券を渡せるようにしたいと思っています。期間は前1年ぐらいで検討したいと思います。 【後日の対応】 雪舟くん利用券交付対象者を1年拡大することに決定。対象者は平成23年4月1日以降に「おかやま愛カード」を取得した人とする。
27 介護保険	昨年このガラス張り公開市長室の会場で地域のケア会議に老人の代表も参加させてほしいと要望した。市長は簡単だと言ったが何の返事もなかったのか。	その他	【会場の参加者からの発言】 私は市の職員ではないが、小地域ケア会議の昭和の責任者なので回答します。元総社市の民生児童委員協議会の会長が老人クラブを代表して富山の小地域ケア会議に入っている。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
28 生涯学習	出前講座を個人の氏名を指定して申し込みをすると、その人を派遣するという通知をいただくが、機構改革や人事異動で担当者が変わり、通知のあった人と違う担当の人が来る。市役所からすると同じかもしれないが、われわれは信頼している人だからこそ申し込みをしている。	市長	人事異動はあるが同じ課で係が違うとか縦割りで考えるのはいけないと思う。望む人間がいるというのはうれしいことなので、同じ部内であれば行かせるようにします。
29 その他福祉	種井地区というのは、例えば福祉関係は富山村・旧富山地区になる。愛育関係は水内といっしょになる。公民館はあやふやになっている。維新学区という形になると水内になる。これを解決する何かかいい考えがあれば市役所サイドで考えてほしい。 【市議からの補足説明】 一つの例を言うと、例えば、福祉委員も宇山の人が富山の委員会に入る。宇山は行政区で言えば美袋になる。種井の人も水内の婦人会に入る。その他は愛育も水内になる。しかし行政区で言えば富山になる。そのようものによって、富山についたり、水内についたりしている。	副市長	こういった問題は地元で決めてもらうのが一番だと思う。富山、水内の区長が集まって相談してもらいたい。行政区域で分けると重なるところが必ず出てくるが、それは昭和地域で決めてもらいたいと思います。
30 子育て支援	昔の昭和保育園の跡地にある児童館は児童数が40人ぐらいいる。ここにはあまり市の手が入っていないように感じたが、市はどのような対応をしているのか。	保健福祉部長	ご指摘の施設は、市が「放課後児童クラブ」及び「親子ふれあいプラザ」として地域で活用いただける場として、運営委託により使ってもらっているところ。市としても、安全面をはじめ、運営のあり方は注視しており、他の施設ともあわせて、ガイドライン等にそって質を保ってもらえるよう、対応している。
31 消防	消防署の昭和出張所のシャッターがよく閉まっている。直近でカバーするというのは分かるが、地域住民としてはシャッターが閉まっているということが不安。職員が足りないのなら職員を増やせばいいと思う。	消防長	管内に調査等で出払っているときは、盗難等の恐れがあるのでシャッターを閉めています。有事の際には、その場から出動できる体制を整えており、昭和隊が出動できないときは、本署隊や西出張所隊がカバーします。職員数については、現状の職員で最大の効果が得られるようやっていきたい。
32 生涯学習	今生き生きしている人は、趣味に生きがいを感じている人。趣味のグループが水内地区、昭和地区に出来ればいいと思う。まちづくりを考える上で物的な面も大切だが、人の生きがいについても考えてほしい。	副市長	趣味については公民館講座がたくさんあるし、それ以外の個人的にやっている講座もあるので、そういったところから探して、参加してもらいたい。
33 市税	6月14日に市から平成25年度軽自動車税納税証明書の再送付について、という通知が来た。本書有効期限の日が平成25年6月15日になっていたのが訂正されて、平成26年6月15日が正しいという通知。再送付するには、郵送料やコピー代もかかると思う。再送付した責任の所在、再送付したら損失はいくらになったのか聞きたい。	市長	一切私の責任です、大変申し訳ありません。このような間違いは言語道断です。皆さんの税金で郵送させてもらっているのだから、お詫びを言わなければならない。気を引き締めてやっていきます。 【総務部長】 申し訳ありませんでした。今後このようなことのないように身を引き締めてがんばっていきますので、よろしく願います。 【税務課長】 軽自動車税納税証明書を発送した8000件の内の1500件が、「本書有効期限」の日付間違いのため、修正した正しい証明書を再送付させていただいた。間違いの原因は、電算入力した後、試しに打ち出した証明書の日付を確認しきれていなかったため。郵送にかかった経費は80円×1500件分（12万円）です。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
34 環境保全	観光環境大使の野口健さんが昭和小学校に来られると聞いているが、可能なら高滝山に登ってもらい、登山の指導もしてもらいたい。	市民環境部長	高滝山を登ると結構時間がかかるため、野口健さんの予定を調整させてほしい。
35 道路	総社中学校の通学路で、西公園の北の道を嵩上げができないのか。また、公民館の角が鋭角になっているので、そこを1メートルほどのカーブを作ってもらいたい。	建設部長	通学路のことについては、予算の都合もありますが、現場を確認してできるだけ早く対応します。偶切りの件は、土地の所有者を調べて早めに対応します。 【副市長】 明日現場を確認します。 〔後日の対応〕 通学路については、土木担当から要望書が提出されており、要望の中でも優先度は高いと判断している。道路の嵩上げは東側から工事を進めたいと説明しました。公民館の偶切り部分は施工済。
36 道路	金子池の下に生活道路（山崎目田線）ができるのが、地元住人の長年の悲願だったが、6月28日に無事に開通式ができた。地域住民は喜んでい	副市長	ありがとうございます。
37 河川・橋	昨年のガラス張り市長室のときに、木村川に砂がたまっているので取ってもらえないかとお願いしていたが未だに取ってもらっていない。早く取ってもらいたい。	建設部長	申し訳ございません。木村川の浚渫ということで、管理が岡山県になると思いますが、市から明日にでも現場を確認し、大至急砂を取るようになります。 〔後日の対応〕 要望箇所と工事内容を確認。今年度工事を実施する旨を説明し、了承を得ました。
38 農業関連施設	金子林道から福谷に抜ける道（一丁ぐろにも抜ける道）について。今までは、3、4人で1年に1回、市役所からコンクリートのチケットをもらって舗装をやっている。あとの残りの距離が1100～1150メートルぐらいあるので、市に舗装してもらいたい。	産業部長	金子林道は現状道路になっているが、土地名義で民有地部分が残っているので、行政が出来ないところがあります。今後、市で出来るかどうか再度検討し、早急に返事をしたいと思います。 〔後日の対応〕 以前から地元で小規模工事に対応していただいているので、今後も引き続きお願いするということで了承を得ました。また、林道ではあるものの民地のため、公共工事では今のところ対応は困難だと説明しました。
39 選挙・監査	今後、マイナンバー制度を導入して、個人認証カードもできるので、公職選挙法がらみではあるが投票率を上げるために市長選挙や市議会議員選挙にネット投票を考えたほうがいいと思う。国、中央との話し合いでそのような動向はあるのか。	市長	今の段階でインターネットが爆発的に投票率を上げる要因にはなっていないので、インターネット投票というのは、この国にとっては時期尚早ではないかと思う。投票率を上げるためには、市民に対して自分の政策や争点を述べ、将来のビジョンを示し、市民が興味をいだくような選挙活動をしなければならない。候補者自身に責任があると思っている。
40 その他建設	定住推進特区について、高梁川の西、玉島、船穂、真備、総社というのは、倉敷市と総社市になるがよく似た地域性をもっている。障がい者千人雇用でも、行政の垣根がないほうが人がつながりやすいと思う。また、新見市や高梁市とも連携していかないと、どんどん人口が減っていくと思うので総社から発信してほしい。	市長	新しい橋（清音神在本線）を渡りきって、真備町と連結するアクセス道を整備していきます。これから、真備町や船穂などと連携したゾーンにしていくというのは秀逸な政策になると思う。お互いの政策が合致するものがあればできるものも広がっていくと思う。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
41 一括交付金制度	小学校区単位で一括交付金を出して、目的としてではなく、お金として出してほしい。失敗があってもそこからいろいろ考えて、地域が固まっていくと思うので、怖いがやってもらいたいと思う。	市長	独自予算でやれば、それぞれの地域性というのが出てくると思う。工夫してうまく使い、地域の特性を伸ばすようにチームワークよくやってもらいたいと思います。
42 農林業	地・食について、スーパーでの赤字はインターネットで販売すれば解消すると思う。総社市産の野菜は安心安全だと思うが、何かアイデアがないと難しいと思う。	その他	回答なし
43 防犯・交通安全	市長は6月議会で、地区の防犯灯などを来年度から充実させる照明計画を作ると新聞で拝見した。町内会費の約6割が防犯灯の電気代に使われている。今後は道路の交差点とかの防犯灯は市の直営にしてもらいたい。それから、総社市全体とか川西地区である程度指定業者を決めて月に1回程度点検してほしい。	市長	これから計画を練っていくが、基本的には今まで地区で管理していた防犯灯は従来どおり地区管理でお願いしたい。地域と地域の境の暗いところなど全所的に捉えた方がいいと思われる場所については、市の直轄管理で計画的に進めていきたい。今後増発する箇所については、各地区に予算配分する。
44 道路	清音神在本線は着々と進んでいるが、山本石油から北の道を整備するよう市長に要望を出しているが、2年以上経っても進んでいない。いつできるのか。	建設部長	2年前に要望はいただいているが、清音神在本線がまだ工事中で橋も架かっていない状態なので、清音神在本線が完成し車が通るまでには、工事を始めたいと思う。いつ開始するかはまだ答えられません。 【副市長】 この間言われた後、即刻現場を確認しに行って考えています。もう少し待ってください。
45 市政全般	部長マニフェストを作る段階でポイント的に市長から指示があると思うが、どの部署にあり、承認は誰がするのか。また、目標が達成されない場合、方針管理のフォローアップや是正処置はどのようにしているのか。	市長	マニフェストを決定するときに私は関与しておらず、部長が部内で取りまとめたものを5項目ずつ示すというのが、決定過程になる。それをどのように査定して、どのように方向転換していくかが問題となるが、今市民に示しているのは1年が終わった時点で5月か6月の市報において、達成率を書いて発表しています。 【政策監】 副市長と年間2回は面談をして、目標がどうなっているかをチェックし、相談しながら調整をしている。結果は広報紙やホームページで公表しています。
46 一括交付金制度	一括補助金について、小学校区単位でと言われたが、山田と久代には2つの公民館があるので、公民館単位の配当というのはできないのか。	市長	小学校区単位で配分するが、西小学校区の事務方に一括して渡した補助金を、山田地区での使い道はそれぞれの地区で考えて使ってもらいたい。それぞれの小学校区で、その後の運用はその地域でしか分からないのだから、工夫して配分してほしい。 【市民環境部長】 小学校単位で一括交付金については考えている。山田地区は山田地区で、久代地区は久代地区でそれぞれの交付金制度はできないかということだと思うが、私たちが考えているのは小学校単位です。
47 消防	非常用サイレンが1部の消防機庫の上に設置されている。このサイレンが周りの民家より低い位置について、近所の人から鳴らさないと聞かれる。サイレンが鳴らせない無用の長物では駄目だと思うので、山田コミュニティの屋根の上につけ替えてもらいたい。	消防長	サイレンの件は地元要望として聞いており、既に西公民館山田分館の敷地内に設置予定となっています。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
48 施設・財産管理	10月27日に雪舟サミットがあり、山口や山陰など全国から人が来る。雪舟生誕の地に非常に草が生えているが、どのような管理をしているのか。10月27日までにはきちんと整備してほしい。	政策監	公園用地を長い間確保しているが、なかなか整備が行き届いていないのが現状。年に何回か定期的に整備をしているが、いつもきれいな状態にはなっていないのが実情。10月27日までにはきれいにします。
49 職員	先日の参議院議員選挙で、総社市は集計で2票の誤差があった。職員一同にたるみがあるのではないかと。	副市長	職員がたるんでいると言われても仕方がない。今後このようなことがないように職員に徹底して指導します。
50 農林業	地・食については、赤字ということだが、国でも取り組んでいる6次産業化への取り組みは検討しているのか。	市長	農林水産省の6次化モデルの取り組みに、そうじゃ地食ベ公社が合格している。地・食ベ事業を続けていくために、なにかしら加工し、付加価値をつけて高値で売れるものを作っていくと思う。国からの補助を駆使してやっていくのがこれからの方向性だと思っています。
51 医療費適正化	子どもの医療費の問題で、安心して子どもを産めると考えていいのか。コンビニ受診とかは、そんなにしていないと思う。親は子どもが熱を出せば不安だと思う。	市長	小児医療費の無料化をやめるとは言っていない。続けたいと思っているので、協力してほしい。多くの親たちに協力を得て、今の医療費がこれ以上に増えないのであれば、十分無料化制度は続けていけると思っている。 【保健福祉部長】 小6まで医療費を無償化したことによる医療費の増加額は当初の予想を上回っており、コンビニ受診やはしご受診といった実態もあると思われる。今後、医療費適正化を呼びかけ、24年度決算額の約2億5800万円を下回るよう努力し、上回るようであれば一部負担等の対応が必要となる。
52 医療費適正化	小児医療費の適正化について、病気の知識をこども課や倉敷中央病院の小児科部長に指導してもらった。知識があるとなんでは相当違うと思う。元気な子に育てるということでも相当違うと思う。	市長	病院に行かないでほしいとは言っていない。総社市でも、倉敷中央病院の小児科部長に来てもらい講演会をしてもらった。知識があれば相当違うので、そのようなことを広めていきたいと思っている。
53 その他建設	工事費より測量費のほうがかなり費用がかかる。測量専門の部署を市役所の中に設けたらどうか。	市長	分筆を企業に委託するととても高い。これを市の職員が自分でできるように変えていかななくてはならないと思っている。 【産業部長】 農道の場合、工事費が安くできるように努力しているが、測量委託はどうしても専門業者になる。分筆登記においても委託費が高くなっているのが現状。今後、職員でできる範囲で測量をやっていききたいと思います。
54 市政全般	市長の市政についてのプレゼンでデータを見せてもらった中で、データが平成23年度というのが数々あった。一昨年話になる。来年、平成26年度にやるときは、25年度のデータを使わずにやってほしい。	秘書室長	24年度の財政的なものは決算が終了しないと出せないものがあるし、24年度の統計的にまとめたものがまだ発表されていないものもある。そのようなことで、一見古いデータのように見えるものがあつたと思う。直近のデータを出せる範囲で工夫して資料作りをしていききたいと思います。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
55 職員	司会の新入職員は4月から始めているのだから、朗らかにやれというのには、かなり無理があると思う。一生懸命やっているし、明るくしようとするとチャラけてくる。	市長	一年生を育てるのは私の仕事なので、さまざまなものを見せようとしている。この司会も一つの経験で、新人はとても成長できていると思う。また、国へ職員を派遣し、国のスピード感とか、発想力を学ばせている。今後10年間で霞ヶ関経験者が市役所の中に増えて、全体で20人になったら市役所全体が変わると思う。市民の税金で働かせていただいているので、最高のサービスができるように職員を鍛えていきたいと思っている。
56 そうじゃ吉備路マラソン	そうじゃ吉備路マラソンを年寄りにもおもしろくするために、5kmにシニアコースという種目を追加してほしい。きっとシニアの人は参加したくなると思う。シニアだから男子も女子も65歳以上だけにしてほしい。	市長	シニアの部門ができるように変えていきたいと思う。
57 文化財・文化振興	服部に栢寺廃寺というものがあるが、その説明書きに何を書いているのか読めなかった。これを読めるようにしてもらいたい。また、その入口にお地藏さんがあるが、少し傾いているので真っ直ぐにしてもらいたい。	教育次長	栢寺の説明書きについては、確認させてもらい、大至急皆さんに説明できるようにする。お地藏さんについても、地域の人の話を聞きながら真っ直ぐにしたいと思います。 [後日の対応] 栢寺の看板については取り替える。お地藏さんは所有者に連絡しました。
58 そうじゃ吉備路マラソン	そうじゃ吉備路マラソンには県外から来る女性の参加者もいる。たくさん参加者がいるので、特に女性のためにトイレなどを設置してもらいたい。	市民環境部長	トイレについての意見は聞いているので、これから対応していきたい。例えば店のトイレや民家のトイレを借りたり、仮設トイレも検討したいと思います。
59 生涯学習	服部分館の世話をしているが、市民環境部のまちづくりで、服部地区で地区長会というのがある。公民館のお世話をすると、生涯学習課が窓口になるが、いろいろな事務を担当する課が交差している。生涯教育とものづくりの市の窓口をどのように考えたらいいのか。分館長には充て職が多いと感じる。	市長	基本的に、一括交付金の組織については、人権・まちづくり課がやる。 【教育長】 施設の管理については、教育委員会の生涯学習課。市の部局と教育委員会とがなかなか切りにくい。分館長に充て職が多いといった話を含めて整理していきたいと思います。
60 そうじゃ吉備路マラソン	そうじゃ吉備路マラソンのボランティアの案内状に、すみれ保育園とかたんぼぼなどと住所は書いているが、わかりにくかった。来年からは、地図はいらぬが病院とかいろんな目印になるわかりやすい情報を載せてもらいたい。	副市長	配慮が足りませんでした。今年度からマラソンの担当部署は市役所の中に移ったので、担当部長にもよく言うておきます。
61 観光	総社市の観光資源である豪溪のトイレは茶店の前と駐車場の前にある。茶店の前のトイレは水洗ではないトイレで、水道の水もでない、電気も点かない、掃除もいまいちな状態だった。駐車場のトイレは、水は出るが汚い。市民憲章にあるように、美しい郷土、美しい土地を守ってほしい。	市長	総社観光プロジェクト予算を500万円つけている。この観光予算の中から各観光関連に配分していくという予算配分をしている。いつになるかは回答できないが、トイレの問題は私の課題として前向きにやっっていこうと思います。
62 道路	吉備路農協付近の歩道のデコボコがとても危険なので、平らにしてほしい。これをお願いするのは3回目だが、国道ということでいつも逃げられている。市も逃げないで、国と協働でやってほしいと思う。	市長	この道を直せと言ったら、国道だから、県道だから無理だと言うのは間違っている。私たちの責任でやらなくてはいけない。われわれが必死に国に対して要望していきたいです。 [後日の対応] 岡山国道事務所交通対策課へ「農協前の歩道をマウンドアップからフラットにして縦断方向の段差をなくしてほしい」との要望内容を伝えました。

◆ 平成25年度「ガラス張り公開市長室」意見・提案集約 ◆

分野	発言趣旨	答弁者	答弁概要
63 まちづくり支援	町内会がかなり高齢化し、身動きとれる人がそんなにいない。そのようななかで、社協などが寄付金の集金や敬老会の記念品の配布など、いろいろな労務を無償で頼んでくる。もっと高齢化社会に合った行政をやってほしい。一方通行ではなく住民のことも考えて、政策を進めてほしい。	市長	どこの地域もお互いが支え合って、お互いがボランティアで一生懸命歩いてくれたり、配ってくれたり、繋いでくれたりしている地域がいっぱいある。この財政難のときにみんなが支え合って、みんなが助け合って、そのできないところを市が補っていく。そうやって心と心が通じる地域づくりをしなければならない。市で出来ることは一生懸命やりますので、ぜひ協力してください。
64 防災・水防	今後の総社市の行政をやっていくなかで100年、200年後のいろいろな災害・防災を考慮した行政をお願いしたい。都市計画課にもお願いしたい。	建設部長	総社市の都市計画において今後災害のない地区をつくるように努めたいと思います。
65 防災・水防	災害について、現在、警報が出た際にはメール配信をしてもらっているが、警報が出てから準備するのでは遅いと思う。水害については注意報からメール配信をするべきだと思う。	政策監	注意報からメール配信をするとかかなり数が多すぎる。基本的には警報からメール配信するという事で当面は取り組んでいきたい。県や気象庁などのホームページや市のハザードマップも活用し、自ら防災情報を取得していただけたらと思います。
66 一括交付金制度	来年4月から小学校単位で一括交付金をするという事だが、具体的にもう少し説明してほしい。説明会をするというのも小学校単位なのか。	市民環境部長	自治組織に出している5万円の補助金とか、1万円のごみの収集の集積所の補助金などをひっくるめた感じで、一括して小学校区へ補助金を出していこうと考えている。それぞれの地域の課題に対して地域の人の裁量で交付金を使ってほしい。地域地域で説明会を開催してほしいという要望があれば、出向きたいと思います。
67 その他産業	パートの有効求人倍率が2.8ぐらいになっており、新規の募集がたくさんあるということ。既存の企業もパートの募集を出す。パートの地元企業も含めた就職面接会を開いてほしい。	市長	総社市は他市と逆の悩みで、人が少なくてパートが集まらない。言われるようにパートの説明会もやろうと思う。
68 一括交付金制度	一括交付金についての考え方などを初めて見たが、このようなものは事前に市民に広報で伝えるということはないのか。もっとわかりやすい絵や資料を出してほしい。われわれの町内会で、毎年30万円以上かけて草刈りとか溝掃除をしているが、市からの補助金は一切ないのはなぜなのか。文章にして広報に載せればいいのか。文章にして広報に載せればいいのか。	市長	私たちがもっとビジュアル的にわかりやすい図を持って、説明に伺いたいと思います。 【市民環境部長】 一括交付金については8月号の広報紙に少し掲載しています。 【建設部長】 土木担当が137人いるが、区域ごとに、道路・水路を守る会ということで、1人1回出たら600円払っている。その根拠は、担当区域の道路の延長、水路の延長、ため池の数など。137人の担当すべてに予算を配当している。泉の土木担当を調べて、明日にでも報告します。 【副市長】 この件については個別の地区のことになるので、広報に載せるとかではなく泉の町内会長へ回答させます。町内に関する事なので町内会長さんに回答します。
69 高齢者・障がい者福祉	障がい者を対象にした就職説明会を年に2回ほど開催してほしい。障がい者の雇用条件がよくない。内容のある仕事を障がい者に提供してほしい。また、就職した後の支援がもう少しあったらいいと思う。施設外就労する場所が少ないので、ハローワークと市が協力して斡旋してほしい。	保健福祉部長	障がい者雇用について、福祉的事業所に関する情報提供を行うことや、一般の就職説明会などと同様、情報発信を出来るだけやっていきたい。雇用後のケアについては、市、千人雇用センターが安心して働きつけられるよう努力していきたい。